

2022 年広報委員・社会連携委員会活動報告書

委員長：岸田徹（広報委員長）、樋口麻衣子（社会連携委員長）

副委員長：

委員：日置三紀、河合由紀、多田雄真、鈴木優里（以上、広報委員）、楠木重範、中山可南子、松井基浩、桜井なおみ、白石恵子、御船美絵（以上、社会連携委員）

委員会開催

第1回開催：2022年4月18日 21:00～23:00（場所：ZOOM）

第2回開催：2022年5月16日 20:00～22:30（場所：ZOOM）

第3回開催：2022年6月21日 20:00～21:50（場所：ZOOM）

第4回開催：2022年7月25日 20:00～21:50（場所：ZOOM）

第5回開催：2022年8月15日 20:00～21:40（場所：ZOOM）

第6回開催：2022年9月12日 20:00～21:10（場所：ZOOM）

第7回開催：2022年10月17日 20:00～21:10（場所：ZOOM）

第8回開催：2022年11月21日 20:00～21:10（場所：ZOOM）

第9回開催：2022年12月19日 21:00～22:00（場所：ZOOM）

活動内容 今年度は広報と社会連携委員会は合同で行った。

1. 年報の作成

・2021年度の年次報告書をまとめ、寄付をくださった方にお送りした。合わせて拠点病院への研修の案内とともに発送しHPにも掲載した。

2. AYA 研 LINE の運用

1)必要な情報を吟味して配信する

2)がん生殖医療学会が作成するFSリンクとの連携

3)情報を集約化するために全国の患者会のネットワーク作りを推進する。そのための患者会の選定をし、ミーティングを企画する。

3. 患者会に対する ZOOM 間貸しのスキーム案の作成

・患者会にかかわる方が会員であった場合に、講演やミーティングの際に ZOOM を貸出しできる仕組みについてたたき台を作成した。

4. HP と WebAYA の更新・拡充

1)藤田さん、グラフィカさんを入れて今後の改定に関するミーティングを行った。

2) Web サイトを更新するために患者委員や会員向けのアンケートを実施し現在のHPの感想や改善点を確認した。その上でタイトルや内容に関して委員会で決めることを議論する。

5. ピアサポート研修の検討

- ・まずは環境省のプログラムを申請し、それが通れば全国に広げていくことを考える。

6. AYA 研の会員向けのアンケートを解析し患者さんが参画しやすい会や目的を再度検討する

- 1)どんな人が入っているのか、入った理由をもとに解析する
- 2)増やしていきたい層をまとめてみる

7. メルマガの発行

次年度の課題と継続事項

1. 引き続き AYA 研 LINE の運用を行う。その際に患者会つながりを作り LINE へ情報を集約化できる仕組みを作る。
2. 患者会に対する ZOOM 問貸しスキームの実装化
3. HP・WebAYA の拡充を進める
- 4.ピアサポート研修の検討
- 5.今年度の年報の作成